

# 平成21年教育委員会第10回臨時会会議録

開会日時 平成21年10月22日 午前10時00分

閉会日時 同 上 午前10時45分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 松本 實  
同職務代理 遠藤 勝男  
委員 佐藤 昭  
委員 面田 博子  
委員 秋本 則子  
教育長 山崎 喜久雄

## 議場出席委員

・教育次長	内山 利之	・教育振興担当部長	吉田 義仁
・庶務課長	深井 祐子	・教育計画推進担当課長	木佐森 茂
・施設課長	齋藤 登	・学務課長	土肥 直人
・指導室長	平沢 安正	・統括指導主事	江田 真朗
・地域教育課長	新井 洋之	・生涯学習課長	宮地 智弘
・生涯スポーツ課長	尾形 保男	・中央図書館長	高木 利成

## 書記

・企画係長 平井 大介

開会宣言 委員長 松本 實 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 委員 松本 實 委員 遠藤 勝男 委員 山崎 喜久雄  
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

委員長 ただいまより、平成21年教育委員会第10回臨時会を開会いたします。

それでは、本日の議事に入ります。

本日は、請願・陳情・議案はございません。

報告事項等に入ります。

報告事項等 1、「新型インフルエンザに関する対応について」をご報告をお願いします。

学務課長。

学務課長 それでは、学校における新型インフルエンザに関します対応につきまして、ご報告いたします。

まず 1 点目の学級閉鎖の状況でございます。こちらは新型インフルエンザによる状況でございます。下にございます表は、2 学期が始まる 8 月 25 日から 1 週間単位で区切りました小学校、中学校の学級閉鎖数でございます。ごらんいただきますとおり、第 1 週目から第 6 週目までは全体の合計といたしまして 10 ないし 20 で学級閉鎖数が推移していたところでございますが、第 7 週、10 月 5 日の週になりまして、小学校が 42 学級ということで増加に転じております。さらに、第 8 週でございますが、小・中学校ともに 44 学級ということで、全体で 88 学級の学級閉鎖が行われている状況でございます。

なお、今週に入りましての状況でございますけれども、今週は小学校の学級閉鎖が 64 学級、中学校が 28 学級、幼稚園が 2 学級の合計 94 学級が学級閉鎖をしている状況でございます。1 医療機関当たりの患者数が 10 人を超えますと、今後 4 週間以内に大きな流行が発生する可能性があるという注意報が国、あるいは東京都で出されるわけでございますが、東京都は既に表の下に記載のとおり、9 月 25 日に注意報を発しておりまして、今週はその 4 週目に当たるということでございます。なお、国は先週注意報を発したところでございます。

次に、2 のインフルエンザ様疾患によります欠席者、こちらは出席停止を含んでおりますがその状況でございます。こちらは、小学校につきましては、大体 200 人前後、中学校全体で 100 人前後で推移していたものでございますけれども、学級閉鎖数の状況にあわせるように、10 月 6 日の火曜日には小学校の欠席者数が 336 人と増加に転じまして、10 月 13 日には、小学校が 761 人、中学校が 378 人ということで、ずっと平準化して推移してきた数字と比較いたしますと 4 倍程度の欠席者に上っておるところでございます。

なお、10 月 20 日にも同様の調査を実施しておりまして、小学校の欠席者は 628 人、中学校の欠席者は 392 人、合計で 1,020 人ということで、この傾向が今後も続くのではなからうかというふうに考えてございます。

なお、学校別の学校閉鎖の状況につきましては次ページ以降に添付してございますので、後ほどごらんおきいただければと思います。

ご報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

委員長 ただいまの説明について、ご質問等ございましたらお願いします。

秋本委員。

秋本委員 このように状況が悪化して、学級閉鎖せざるを得ない状況の中で、このままですと、今後ふえていく一方だと思うのですが、そこで授業日数等について葛飾区はどうなっているのでしょうか。きょうのニュースでも、しきりにインフルエンザについてのニュースがありますが、他区やほかの地域では、学級閉鎖で授業日数が足らなくなってくるのではないかというようなことを考えますと、心配しているところですが、葛飾区についてはどうなっているのでしょうか。

委員長 指導室長。

指導室長 これまでも流行性感冒等で学校閉鎖・学級閉鎖した場合には、その授業日数・時数の確保についてということで、各学校で対応を進めていくという方針には変わりない状況でございます。ただ、今回のように、全校的にさまざまな状況でこのような学級閉鎖が起きているということにつきましては、何らかの形で各学校の状況に応じる中でも、その確保についてということでは学校のほうに指導・助言をしていきたいというふうに考えています。

以上です。

委員長 よろしいですか。

佐藤委員。

佐藤委員 私もその辺がちょっと心配なのですが、例えば、中学校のほうで、23番のところに一之台中学校の3年生がありますね。これ、期間が10月9日から10月9日ということは1日だけ休んだということですね。それから、31番のところにまた3年生が閉鎖しているし、41番でまた全学年が閉鎖になっています。ちょっと3年生の閉鎖日数が多くて、授業数というか、3年なのにこの日数で大丈夫なのかなと、それでちょっと心配なのですが、その辺を。

委員長 指導室長。

指導室長 委員ご指摘のとおり、中学校3年生は受験期を迎えて、このような状況ということで、生徒自身、またご家族も大変心配しているところだというふうに考えています。しかし、明けてまたすぐそこで感染するというようなことも考えますと、校医さんと相談の上、閉鎖する期間というのなかなか難しいところがあるかというふうに考えています。

いずれにしても、受験期を迎えた生徒が不安にならないような形で、学校のほうできちんと授業時数、また学習内容の復習についてということでは、一之台中だけではなくて、やはりこちらからも指導していきたいというふうに考えております。

以上でございます。

佐藤委員 よろしくをお願いします。

委員長 ほかにございませんか。

遠藤委員。

遠藤委員 このように、新型インフルエンザが大分大きくなっている現状におきまして、私どももいろいろな配慮をしていかなければならないのではないかと思います。つきましては、この新型インフルエンザで、特に重症化している子どもが全国的にふえているということなのですが、本区におきましてはどういう状況であるかということが1点。それから、ワクチンが全国的に大変不足しているということで、1回にするか2回にするかということが政府のほうでも大分議論がありまして、落ちついてはいないようではありますが、本区における、特に医療機関だと思いますが、医療機関におけるこのワクチンを打っている状況につきまして、わかる範囲で結構でありますので、教えていただければと思います。

委員長 学務課長。

学務課長 まず、重症化の例でございますけれども、重症化というふうに区切っていいのは分かりませんが、肺炎を併発して入院した事例が1例ございます。既に容体は安定しております、小学校1年のお子さんというふうに伺っていますが、1例ございました。それと、ワクチンのほうですけれども、既に一部道府県では、医療従事者に対しましてワクチンの接種が開始されているところでございますけれども、東京都につきましては、けさの報道によりますと、10月26日月曜日から医療従事者に対しましてワクチン接種を開始すると。そうした報道が東京都からなされているというふうに伺っているところでございます。

遠藤委員 はい、結構です。

委員長 ほかにございませんか。

秋本委員。

秋本委員 この表を見ますと、佐藤先生が言いましたように、中学3年生で中間テストの時期に学級閉鎖になっている状況のところがあると思うのですが、インフルエンザの場合、出席停止ということで欠席扱いにはならないというふうに聞いております。高校入試にあたり成績を添付する場合に、2学期の成績を持っていかないといけないような状況のときに、インフルエンザの子どもたちは別室で違う時期に中間や期末テストを受けられると聞いたこともあるのですが、これは全学校で統一しているのでしょうか。それとも各学校で対応しているのでしょうか。ちょっと入試のほうでいろいろ子どもたちは心配しているのかなと思うのですが。

委員長 指導室長。

指導室長 中間の場合と期末考査の場合、対応も少し変わってくるわけですが、統一したということではありません。各学校、それからその子の健康状況を含めて個々に対応しているという状況でございます。ただ、いずれにしても、その生徒さんが入試の成績等で不利にならないような形で各学校は配慮しているというふうに把握しております。

以上です。

委員長 ほかにございませんか。

面田委員。

面田委員 私も、先ほどから話題になっているこの時数の確保のこと、現場ではとても気にしていると思うのですね。10月に入ったら蔓延してくるよという予想が当たったわけで、そうなってくると、これからもっともっとふえていく可能性もある。ということは、学級閉鎖をせざるを得ない状況がもっとふえるのではないのかなど。そうなってくると、時数確保に関しては、具体的な何かをこちらとしても考えなくてはいけないのかなどということをおもうのですね。各現場に任されても、なかなかそれを今の授業の中でふやしていくというのは厳しいのかなどという思いがありますので、1月、2月になって、「時数が足りないからどうしよう」という声が出ないように、今の段階から何か見通しを持って具体策等があれば、そういうことで指導・助言いただけるとありがたいと思うのですけれども。

委員長 指導室長。

指導室長 各学校は、大体月締めで時数の計算を教務部を中心にやっておりますので、この10月末のところ、インフルエンザ等でどのくらい時数が足らなくなっているかというようなことを各学校のほうにそれぞれ集計をしていただいて、11月の校長会、副校長会のところで各学校の状況に応じてしっかりその補てんをやっていただきたいということは申し上げたいと考えております。

以上です。

委員長 佐藤委員。

佐藤委員 先日、スポーツフェスティバルのときに、宝木塚小学校のお子さんたちが欠席したという話をちょっと耳にしたのですけれども、運動会とか文化祭、いろいろな行事がありますが、そういったところの影響はないのでしょうか。

委員長 指導室長。

指導室長 実際に、スポーツフェスティバル、それから、今、産業展が開かれていますけれども、あるクラスだけ参加を見合わせたというような報告をいただいています。また、中学校のほうでは、文化祭のシーズンですけれども、文化祭を1週間ずらすとかいうふうなことで、学校行事のほうにも影響が出始めております。

以上です。

委員長 ほかにありませんか。

面田委員。

面田委員 学級閉鎖をした場合に、インフルエンザにかかっていないお子さんも閉鎖だから、学校がお休みになりますね。その辺の対応も。いわゆる季節的なインフルエンザというのは非常に少ない日数で、割と課題もちゃんと与えてきめ細かく対応できたと思うのですが、今回の

新型に関しても、インフルエンザにかかっていないお子さんが家庭でどのように暮らすか、学習面、生活面での指導のほうもまたどうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

委員長 指導室長。

指導室長 この大流行を前に、各学校でいつそういう事態が起きても混乱のないようにということで、自習教材の準備、家庭への連絡体制、閉鎖の期間、担任からの健康点検、どれぐらいの期間閉鎖をしなければいけないかという校医さんとの連携というようなことでは、各学校準備を進めているというふうに把握しておりますけれども、今後さらなる流行をということをお考えすると、一層その準備の体制を強化していく必要があるというふうに考えておりますので、そのことにつきましても、校長会、副校長会等でまた周知徹底していきたいというふうに考えております。

面田委員 お願ひいたします。

委員長 ほかにございませぬか。

それでは、ただいま出ましたようなことをもとに、十分な対策をお願ひしたいと思ひます。

続きまして、報告事項等2、「『かつしかスポーツフェスティバル2009』の実施結果について」をご報告お願ひします。

生涯スポーツ課長。

生涯スポーツ課長 「『かつしかスポーツフェスティバル2009』の実施結果について」をご報告申し上げます。

当日は、委員長を初め、委員の皆様にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。10月12日体育の日、午前8時から夜まででございますけれども、総合スポーツセンター体育館ほか、区内の各体育施設、民間施設等でスポーツフェスティバルを無事開催することができました。天候は、晴天に恵まれまして、とてもよい開会式でスタートできたところでございます。参加人数にいたしましては、記載のとおり、3万2,459人、昨年度に比べますと約1,000人ほど減ったということで集計にまとまってございます。

経過といたしましては、先ほどお話にありましたインフルエンザによりまして、四ツ木地区が地区全体で欠席になった、あるいは当日お昼のイベントで予定しておりました共栄学園のバトンチームがインフルエンザのために出席できない等々、報告がありました。また、地区によりまして、予定していた選手が体調不良のために欠席するというようなことも報告いただいております。

述べ人数の内訳でございます。陸上競技場7,615人を初め、イベントには9,800人から、合わせまして3万2,459人ということで開催させていただきました。地区別の対抗競技におきましては、総合優勝がお花茶屋地区、これは過去の記録の中では初めての優勝ということでございます。準優勝が立石地区、第3位に新小岩北地区ということで集計がまとまりました。

救護・迷子につきましては、迷子が3件、救護9件ということで報告を上げております。迷子はすぐに関係者、親御さんが引き取りにきましたので、特に大きい問題もございませんでした。また、けが等につきましても、ことしは非常に軽微なものが多く、擦り傷程度のものの内容ということで報告をいただいております。

あと、あわせまして、今回の大会の中では、協賛品といたしまして地区ゼッケンをオール電化葛飾館様よりいただきましたので、新調して新しいゼッケンを全部の地区でつけてもらいました。また、事業の中では、バレーボール連盟が体育館でソフトバレー教室というのを初めて開催し、子どもたちに大変好評だったということで受けております。元読売巨人軍の岡田選手を初めとする少年野球教室につきましては、参加の子どもたちから「大変勉強になった」というようなことで大変好評な意見をいただいたところでございます。

また、地区別対抗競技におきまして、綱引きでございますけれども、ルールの徹底が少々行き届かなかったがために、試合につきまして予選をやり直すというようなことが今回起きてしまいました。当日は、審判員及び運営は体育協会、体育指導委員、それから地区委員の皆様などに参加をいただいておりますので、その皆様に対し、もう少しルールの徹底といったようなところを図って対応していければというふうに考えております。また、綱引き競技につきましては、いろいろな指摘を、それ以外の点についてもいただきましたので、来年の競技種目につきましては、予定しております反省会などでの意見を踏まえまして、来年また楽しくできるように検討してまいりたいと考えております。

以上です。

委員長 参観されまして、委員の方、ありましたらお願いします。

遠藤委員。

遠藤委員 このような新型インフルエンザという事態の中での「かつしかスポーツフェスティバル」、役員の皆様は大変ご苦労なされたのではないかと思います。にもかかわらず、参加人数としましては、昨年並みに近い人数が参加されたということも、役員の皆様方のご苦労がこの辺に出ているのではないかと思います。しかも、新型インフルエンザに実際にかかっている子どもたちもいると思いますが、家庭によりましては、「こういう人が集まる場所には出ていきません。」という指導をしている保護者の方も大分いらっしゃるのではないかと思います。そういう意味では、まだインフルエンザにかかっていない子どもも参加していないというような状況もあるのではないかと思います。

つきましては、ずっと拝見いたしまして、例年よりも大分新しい種目が多く出ておりまして、区民の皆様方のスポーツに対するニーズが広がっているのではないかという感じがいたしましたが、新しい種目というのは何種類ぐらい今回新規に出てきたのでしょうか。

委員長 生涯スポーツ課長。

生涯スポーツ課長 新しい種目といたしましては、先ほど申し上げましたソフトバレーボール教室、こちらが種目としては新しくなります。それと、一番西側の公園で行っております射撃のレーザーガンのコーナーを新しい種目として用意させていただきました。件数としましては、新種目ではその2種類になります。あと、去年できていなかったものとしては、カヌーの体験コーナーというものをことし新たに入れております。ただ、カヌーにおきましては、ほかの会場で体験できるようなこともやっておりますので、新種目ということにはならないのですけれども、種目数としてはそうなっております。各コーナーにおいて、やる内容については毎年工夫を重ねる、または、参加の皆さんの意見を反映しながら開催をしていくような形でやらせていただいております。

以上です。

委員長 ほかにございませんか。

面田委員。

面田委員 3万人以上の区民が参加したと。本当にすごいなと思います。本当にご苦労なされたこととも思います。ありがとうございます。

それで私、いろいろな会場を回ったときに、思った以上に子どもがいたということで、インフルエンザの関係もあるのによかったなと、そのように思ったのですね。特に少年野球のところのプロ野球の方ですか、ああいうところはインフルエンザなんか全然関係ないような雰囲気、頑張っている子どもはたくさんいるのだから、もちろんインフルエンザは頭にあるけれども、このイベントをやってよかったなと思いました。

それから、もう一つは、若い家族連れがまだ小さい子を連れて来ているのですね。近くの方かもしれませんけれども、そういうことがこれからすそ野を広げていくというか、このフェスティバルがだんだん継続されていくものになるのかなという思いで……。そうなってくると、小さいお子さんが来て参加できる、あるいは家族で参加できるようなものもどこかにあるといいのかなと。子どもまつりではないから、「そうじゃないよ」と言われれば、趣旨から外れるかもしれないけれども、そんな思いもいたしました。

感想です。

委員長 生涯スポーツ課長。

生涯スポーツ課長 小さいお子さんでございますけれども、お昼に予定しております「シンケンジャーショー」というのがございまして、そちらにも大変多く参加いただいております。また、会場のところでは、もう少し上の子どもになりますけれども、縁日ゲームコーナー、あるいは手づくり品のコーナー、それからふわふわの無重力体験、あと、小学校の子どもさんになりますけれども、ポニーに乗れるコーナーなども設けて、楽しんでいただけるようにというメニューも用意しておりますので、また来年に向けていろいろ工夫してまいりたいと思います。



面田委員 そうでしたね。どうもありがとうございます。

委員長 ほかにございませんか。

秋本委員。

秋本委員 私も感想なのですけれども。

晴天だったせいもあり、私も楽しく参加させていただきました。参加するところは、地区委員会が主催というか、地区委員会単位で来ているようには思うのですが、各地区に教員がたくさん見られたのですね。校長先生、副校長先生、あと教員も応援に来てくれていたので、子どもたちは、教諭や校長先生、副校長先生、地域の方々に見守られてきているのだなと。あと、競技の1位、2位は関係ないとしても、皆さん、応援がエキサイトし過ぎて、「もう1回やってくれ」なんて競技のやり方に文句が出たりするようなところもあるのですが、この葛飾区の皆さんが温かく見守ってくださっているのだなというふうに感じました。ありがとうございました。

委員長 ほかによろしいですか。

私から、まず感想ですけれども、例年、この葛飾区の体育協会、体育指導委員協議会、それから少年野球を中心とした地域のボランティアの方が裏で相当奉仕活動をやって、スポーツが振興されているのだなということを実感いたしました。

競技に関しましては2点申し上げたいと思います。

一つは、先ほど出ました綱引きで、午後かなりトラブルの中で競技していましたので、来年は楽しくできるような中身にするか、ルールの検討をお願いしたいと思っています。もう一つは、地区対抗のリレーのときに、子どもたちは、コーナーで大きいカラーコーンが立っていたものですから、バトンがぶつかって何回も落とした子がいたのです。それから、カラーコーンが大き過ぎて、もしカラーコーンが倒れたときに足に絡まったり、小さい子にとってはちょっと危険だなということを感じましたので、その点も考えていただきたいなと思います。

以上です。

生涯スポーツ課長。

生涯スポーツ課長 地区別綱引きにつきましては、地区委員会への説明会の際に、再度、もう少しルールを徹底することをお伝えしていく、または、この競技そのものについてももう一度よく検討していきたいなというところで考えております。幸い、人工芝でフィールドが整備できておりますので、それに見合った競技が何かできればいいかなということで検討してまいりたいと思っております。また、各地区対抗でやるという面は、応援の皆さんも大変盛り上がっていただきまして、また、スポーツでございますので、競技性を持った部分というものもある程度残していきたいなということもございますので、種目についてよく検討を重ねたいと思います。

それと、地区対抗リレーでございます。私も現場で確認しておりました。コーナーの取り方で、ポールに当たって、せっかく走っていた子がバトンを落とすというような状況も出ておりましたので、再度、コースの設置の方法などももっとよい方法がないかということで検討してまいりたいと思います。

現在、地区別の得点の競技というものは3種目でやってございます。綱引きとリレーとムカデ競走ということで点数をつけてやっているところでございますが、当日の予選、それから、時間内に19地区を決勝まで戦っていただくとなりますと、競技にかかる時間、あるいはそれに出てもらう選手層をどのように選んでいただくかといったところも非常に難しくなっているところでございます。その辺を踏まえまして、また来年よりよく楽しんでいただけるよう検討してまいりたいと思います。

以上です。

委員長 ほかにございませんか。

では、よろしく申し上げます。

次に、報告事項等3、「葛飾区文化・芸術・スポーツ功労章の表彰について」、ご報告願います。

生涯スポーツ課長。

生涯スポーツ課長 「葛飾区文化・芸術・スポーツ功労章の表彰について」、ご説明申し上げます。

団体でございますが、今回、2団体を表彰ということになりました。10月14日、この教育委員会室で区長より表彰を行っております。

対象団体でございます。

まず1番目が、東金町ビーバースでございます。第29回全日本バレーボール小学生大会で優勝いたしました。決勝は、8月14日に東京都体育館で行われたものでございます。東金町ビーバースにおきましては、全国大会では5回優勝した経緯があったかと思えます。

2番目が共栄学園中学校の女子バレーボール部でございます。今年度の39回全日本中学校バレーボール大会で優勝ということでございます。決勝戦は大分県の別府アリーナで行われました。8月20日に開催されたものでございます。共栄学園につきましては、平成7年と17年に2回、やはり優勝した経過がございます。今回3回目ということで報告をいただきました。

目的でございます。記載のとおり、功績をたたえ、基準に該当した場合に区長のほうで表彰するということになってございます。また、この分野は文化・芸術・スポーツの分野で成績をおさめたということで認められましたので、今回の該当者になったということでございます。

以上です。

委員長 ご質問等ございましたら申し上げます。

よろしいですか。

(「はい」の声あり)

委員長 このことは、本区の中学校のバレーボール、部活動等に大いに貢献していると思います。ありがとうございました。

以上で、報告事項は終わります。

ここで、教育委員の皆さんより発言がございましたらお願いします。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

委員長 ないようですので、続いてその他の事項に入ります。

庶務課長、一括してご説明をお願いします。

庶務課長 それでは、「その他」の1番目でございますが、まず「資料配付」でございます。「11月行事予定表」をお配りしてございます。今回、11月、文化の秋ということもあって、生涯学習分野でさまざまな事業も開催されますので、生涯学習課長から簡単にご説明を申し上げたいと思います。

生涯学習課長 11月の行事予定表で8行事ほど挙げさせていただいていますけれども、その中で主なものを簡単にご説明させていただきたいと思います。

本日、机上に配付させていただきましたこちらのチラシ、「知られざる日本刀の美」ということで、この「白金師」、別名「鋸師(はばきし)」とも言われるのですけれども、刀の根元のところにつけている飾り、こちらの飾りをつくる職人さんのことを「白金師」と呼びます。葛飾区の無形文化財に指定されている宮島氏に今回講師をしていただきまして、11月1日、午前10時から12時まで、郷土と天文の博物館でこちらの文化講座を実施いたしますので、もしお時間がありましたら、おいでください。

あと、11月14日土曜日なのですが、プラネタリウムコンサートを実施いたします。こちらのほうは、今回は「薩摩琵琶」で、平家物語の演奏とプラネタリウムの映像と一緒に実施いたします。11月14日の午後7時から午後8時半までで、一応こちらは定員165人でコンサートを実施する予定となっております。こちらのほうにつきましては、後ほど招待状のほうをお送りいたしますので、お時間がありましたら、ぜひごらんいただければというふうに思っております。

それから、今月の博物館は、平氏に少しこだわっているいろいろなイベントをやっていくのですが、そのメインの目玉が、11月22日日曜日から「秩父平氏 葛西清重とその時代」ということで共同企画展を実施いたします。鎌倉時代に入る前の平安時代の末期から鎌倉時代にかけてのものを中心に、葛西清重氏を中心に取り上げていきたいと思います。ただ、連携して同じ時期の畠山氏を埼玉県立嵐山史跡の博物館が実施することで、両方で秩父平氏の流れをくむ鎌倉時代にかけての有名な武将について取り上げて展示してまいります。

その後、11月29日なのですけれども、東京理科大の誘致イベントとして、プレイベントを実施することを以前教育委員会で報告させていただきましたが、これが実施されます。詳しくは次回の教育委員会でチラシを配付させていただきたいと思うのですが、今回、このプレイベントで、東京理科大学のOBで青戸中学校の先生がブースを持って、モーターをつくって回る実験教室をやってくださるといことで、それ以外にもさまざまな科学実験を身近に体験できるブースを用意して、全部で6ブース用意いたします。

それから、内々で依頼をしていました、「世界一受けたい授業」の秋山仁先生からご承諾をいただきましたので、「算数・数学、大スペクタクルショー」といことで、テクノプラザの隣の中小企業振興センターの2階の第1会議室で午後2時から特別講演会を実施いたします。そのほか、東京都立産業技術センターと共催で子ども向けの事業や、あと、当日、おもちゃのアイデアコンクールというのを実施しまして、その表彰式なども一緒に実施いたします。

あと、同じ日に重なってしまったのですが、この日に「わがまち楽習会」の一環として、「ザ・にいじゅくフェスタ」といことで、新宿の防災コミュニティセンター・プレイパークで実施いたします。時間は午前10時半から開会して、午後3時までで、新宿中学校吹奏学部の演奏や大道芸、パフォーマンス、そのほか、フラダンスや新鮮野菜の特売などいろいろなイベントがありますので、そちらのほう、もしお時間がありましたら、ごらんいただければというふうに思っております。

生涯学習課のほうからは以上でございます。

委員長 庶務課長。

庶務課長 続いて、「資料配付」の(2)でございます。「かつしかのきょういく(第110号)」いことで発行させていただきたいと存じます。第1面でございますが、先般、10月17日に開所式を行いました中央図書館を記事にしております。これにつきましても、図書館長のほうからご説明を申し上げたいと思います。

委員長 中央図書館長。

中央図書館長 先日の中央図書館の開館式には、お忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございました。当日、12時からオープンいたしまして、夜の8時まで開館いたしました。そのときの入場者数なのですが、7,577名。去年オープンいたしました豊島区ですとか、北区では、初日から丸1日オープンとしたのですが、そのときは6,000名と聞いていますので、半日で7,500人というのは驚異的な数字かなというふうに思っております。

葛飾図書館の平日の入館者数というのは1,200人から1,300人程度ですので、それから見てもかなり多い人数です。これは初日だということもあるので特別な数字でした。翌日18日は、朝の9時から夕方8時まで11時間オープンしたのですが、このときに8,196名。約8,200名の方の入場がございました。それから、月曜日になりまして、朝9時から夜の10時までという開館

を初めて行いました。このときには大分減りまして4,485名、約4,500名という数字になってございます。

このときちょっと印象的に残りましたのが、6時、7時ごろになりまして、お客というか、利用者の層というのですか、若干変わりました、地域の方というよりも、通勤帰りの方というのが非常に多く、また、その方たちが「利用カードをつくりたい」ということで7時ごろになって行列ができたような状態になりました。

翌日20日が4,377名、21日が4,410名ということで、この5日間で約3万人近いお客さんにご入場いただきました。この5日間で3万点近い図書が借りられましたので、20万冊のうちの3万冊がもうなくなっているということでございます。来週になりますと、多分4分の1の図書がなくなってしまうと。毎日、職員は終わってから本出しをしますので、帰りは10時過ぎ、11時という時間になってございます。

それから、登録していただいたお客さんも、当日から大体500人平均できていますので、この5日間で2,000人近い方に登録いただいております。非常に好評な状況でございます。心配していただいたいろいろなクレームというのですか、事故等については全くございませんでした。どちらかという、施設のよさはともかくなのですが、「丁寧な対応をしていただいた」というような形でお褒めの言葉をいただいております。幾つかは問題というのはおかしいのですけれども、大変混んでいたで、「もう少し何とかならないのか」というようなお話もありました。これはしばらく様子を見ないといけないと思います。4,000人くらいですと、あのスペースですと、1時間当たり500人から1,000人が入られると。それくらいですとそれほど混雑は感じません。ゆったりして見られるかなと思います。それから、「広過ぎてどこに何があるかなかなかわからない」というようなお話がありましたが、これについては少しずつ改善し、ポスター等を張っていかねばいけないかなと思っています。

それから、子どもさんたちなのですが、広いところで自由に遊んで、声も結構出しているのです。ワンフロアですのでかなり響くのではないかなと思って心配していたのですが、そういう意味では、奥のほうまで声が届くようなことは全くありません。お客様からのクレームもこれについてはございませんでした。

それから、閲覧席なのですが、当日から勉強するつもりでご利用になってきたお客さんがたくさんいらっしゃいました。図書館としては、本当は図書の資料を使っていただいて調べ物等をしていただければありがたいのですが、そうではなくて、受験勉強もあるのでしょうか、自分で資料を持ってきてご自分で勉強されているという方でほとんど埋まっております。これは、夜の8時、9時までほとんど満席です。10時ごろになると半分ぐらいになってしまうという状況で、平日ですが、夜の8時時点で250の方が図書館の中にいる状況になります。10時閉館のときには120名くらいの方が出ていかれるという形で運営してございます。この後、利

用者は多少減るのかなと思っていますが、あす、あさって以降、土日でまた少しふえてくるのかなと思い、もう少し様子を見ていきたいなと思っています。

以上でございます。

委員長 庶務課長。

庶務課長 今、「かつしかのきょういく」の内容として、図書館についてご説明いたしました。この号では、先ほど報告いたしました文化・芸術・スポーツ功労章の表彰ですとか、確かな学力の定着度調査の結果をまとめたもの、また、職場体験を実施して子どもたちの感想ですとか、受け入れ先の感想も入れさせていただいております。また、夏休みの児童・生徒の活躍についても、ちょっと字は小さくなってしまいましたが、それだけたくさんの方の活躍というところでございますが、ご紹介をさせていただいておりますので、後ほどごらんおきいただければというふうに思っているところでございます。

それから、2番目、出席依頼でございます。今回は2件ございまして、まず、11月5日木曜日、午前9時から、かめありリリオホールにおきまして中学校連合学芸会がございます。これにつきましては、秋本委員のご出席をお願い申し上げます。

そして、2件目でございます。11月13日金曜日、午前9時30分、かめありリリオホールにおきまして小・中学校の特別支援学級連合学芸会がございます。これにつきましては、遠藤委員のご出席をお願い申し上げます。

出席依頼は以上でございます。

3番目の「次回以降教育委員会予定」でございます。まず、11月11日の10時からでございます。それから、11月24日がございまして、これも10時からということですが、この日は1日教育委員会ということをご予定してございます。それから、12月8日10時から。また、12月25日は10時からでございますが、午後は子ども区議会を予定してございます。それから、年が明けまして1月8日午前10時から。それから、1月27日午前10時からでございますが、この日も1日教育委員会ということで午後勉強会を予定してございます。それから、2月9日10時から、2月19日10時から。それから、3月でございますが、3月9日午前10時から、この日は1日教育委員会で午後は勉強会を予定してございます。それから、3月31日午前11時からということで次回以降の教育委員会を予定してございますので、日程のご確認をお願い申し上げたいというふうに考えております。

私からは以上でございます。

委員長 よろしいでしょうか。

遠藤委員。

遠藤委員 図書館についてちょっと教えてください。すばらしい図書館がオープンしまして、しかも、こういう活字離れ、あるいは本離れという状況の中で、このようなたくさんの方々が

新しい図書館に来ていただいたということは、新中央図書館のインパクトが大変大きかったのではないかと思います。これはあくまでも参考ではありますが、この何日かの中にこのようなお客さんがたくさんある中で、今までの図書館の入館者はどうだったでしょうか。

と申しますのは、新しいお客さんがいらっしゃったのか、あるいは、今まで図書館を利用されている方がいらっしゃったのか、その辺をはかる上で一つの参考として教えていただければと思います。

委員長 中央図書館長。

中央図書館長 お客さんの数の中では、見た範囲は、新しい方が多かったように思います。ほとんどの方があの地域にお住まいの方だったのではないかなと。勉強机などを使っていらっしゃる方については、今まで新宿のほうをお使いになっていた方が金町のほうに来て使い出したのかなというふうに思っています。先ほどお話ししましたとおり、1日500人の登録がありますので、これまで2,000の方が新たな形で登録をしました。それは完全に新しい方だなというふうに考えています。

遠藤委員 わかりました。

委員長 ほかにございませんか。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

委員長 それでは、これをもちまして、平成21年教育委員会第10回臨時会を閉会いたします。

閉会時刻 10時45分